

行政
提案型

事業名 | 学びの下支えによる、子どもの意見表明支援に向けた新しい実践 ～子どもの視点に立った貧困・ケアラー支援、いじめ防止等への対話的アプローチ～ (補助額 500,000 円)

【事業の目的】

- ・子どもの学びの場面に世代の近い大学院生等が加わり、対話的なアプローチをすることで、子どもは受け止められることにより日ごろの不安が和らぎ、存在感覚が根つき、声を発しやすくなる。最終的には子どもが意見表明できるようになることを目指す(根の力)。
- ・結果として、学校が子どもたちにとって安心安全な居場所になる(副産物)。

【事業の内容】

- ・モデル校(富士見小学校)にて学校内居場所「ふらっとるーむ」を開催運営
(週 2 回、こもれび、公益大生対応)
- ・対話プログラム「RJ サークル」実施(富士見小学校 1・2 年生:11/22、1/24 開催)
- ・対話プログラム「RJ サークル」出前講座
(一條小学校 3 年生:12/16、1/27、第三中学校 1 年生:3/7)
- ・学校・地域での「対話」への研修会を開催
(8/1 教職員対象、8/2 支援者対象、1/15 地域向け)
- ・SNS による情報発信



【事業の成果】

- ・モデル校での RJ サークル後のアンケートにより、対話が行えているかの指標(問「自分の話をよく聞いてもらえたと思いますか」「相手の話を聞くことができましたか」)が伸びていることを確認できた。



【事業の目的】

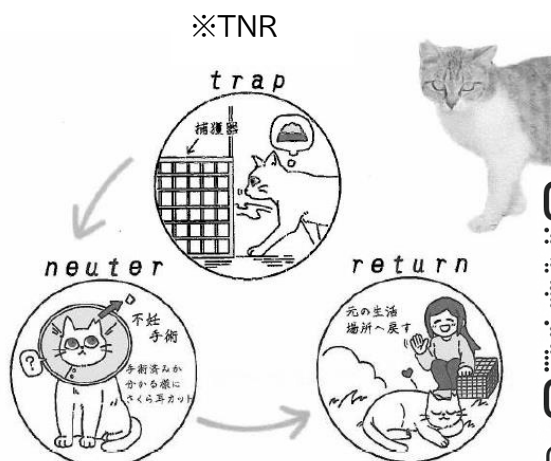
- ・猫は繁殖力が強く、年々野良猫が増え続けている。それに伴い、無責任に餌やりだけをする人と、糞尿被害等にあっている人の間で地域トラブルが多発している。不適正飼養や遺棄も増加原因のひとつである。
- ・過酷な環境で生きることを強いられた猫を増やさない為に不妊去勢手術が必要である。手術済みの猫を適正に管理することで地域トラブルを減少させる。

【事業の内容】

- ・対象学区(松陵学区)にて、重点的に TNR※を実施し、57 頭に不妊去勢手術を行った。
- ・7 月に自治会長、地域住民を対象に地域猫活動推進会議説明会を開催し、地域猫活動の重要性の説明と意見交換を実施した。
- ・不妊去勢した猫の適正な餌やり、トイレ設置等のふん尿清掃、個体管理を、地域猫サポーターにレクチャーした。
- ・捕獲告知チラシや、野良猫対策(地域猫活動)協力願いのチラシを回覧することで、住民が野良猫問題に関心を持ち、意識を高めることが出来た。

【事業の成果】

- ・対象学区での苦情、相談 に対し TNR の実施率100%を達成



@SAKATA22NEKO